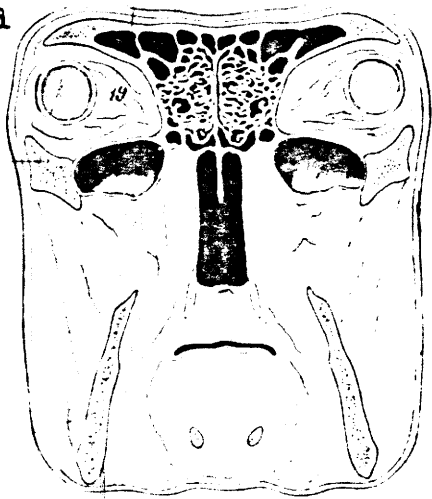


a

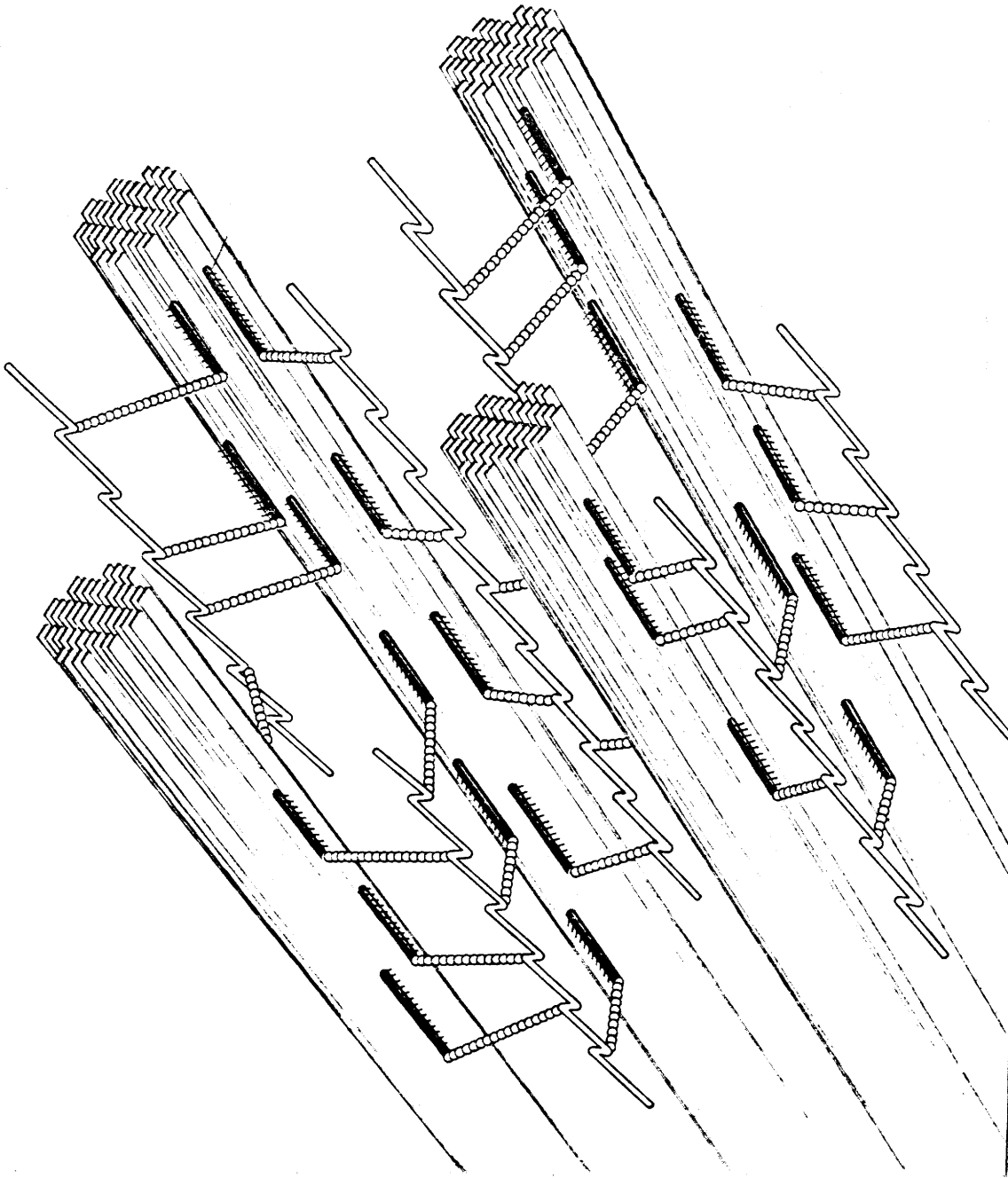


第五期 週間

1979.
8/9~15

DAI - GO - RETSU

AT. HOKU-TEN GARŌ MORIOKA / 北卓画廊・盛岡



b

「第五列週間」について

アフリカのある未開地域で英国人達が、原住民に衛生思想を普及させるために映画を見た。映画が終わってから英国人達は「この映画を見て、どういふ点が最も印象に残ったか」といった内容の質問をした。すると原住民達は口々に「ニワトリを見た。」と答える。「そんなシーンが、あったらいいか」と思って、英国人達はもう一度映画をよく調べてみた。すると、1本のカット、鶏が画面のはしを横切るシーンがあったという。映画そのものが目的としたメッセージは全く受け取らず、原住民にとって唯一認識できたのは、彼等にとって具体的な「鶏」も「けだら」という認識である。

この話から教訓を引きだすまでもなく、表現行為というものはえてして「ムヒヨカリ」にあたりやすい。特に環境・思考などのコンテキストが多々ちがう人々を対象にした場合はなおさらである。(それは特殊な場合というより、一般的な状況なのだ)むしろそういう場合は「ムヒヨカリ」と言うよりも、二者(表現の主体・客体)の間に置かれた「媒体」が改めてその特質を明確にする、という二つの状態が生まれたと言った方がよい。とすれば、我々は「ムヒヨカリ」を批難する前に、表現以前の「媒体」を共有できるか否かを問うべきであろう。そうすればそこに、表現の主体さえ気が付かなかった「鶏」が見えてくるかも知れない。その時、「媒体」は改めて両者の間に意味を獲得する。

「媒体」は物質的であるとは限らない。それは物質的、空間的に規定できない。あるいはイデオロギーであったり、一瞬の感情であったりする。スピードもサイズも限定する必要はない。我々の用意した、この種々雑多な内容を含んだ「第五列週間」というイベントも、何羽かの「鶏」を含んだ「媒体」として作用しうるのである。

「第五列週間」日程(想像図)

*内容は一部分変更になる場合があります。

	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水
1	イベント		その他	ETC	THIS BOX WILL BE PRODUCED BY S. NAKATSUVO (WITH ONNYK).	・青少年と婦人のための	・いつかこの
2	PERFORMANCE BY SONODA...		その他	SONODA.			
3			ETC				
4	フィルム上映						
5	フィルム上映						
6	POEM SESSION TIME.	IMPROVISATION TIME.	SITAR RECITAL		YOGA VOCALIZATION	POEM	POEM
7							
8					永井 邦治		EVENT
9							

「第五列 週間」からのメッセージ

○ 永井邦治 (ゲスト; ミュージカル・コンサート及び「ハリバラブ祭」フィルム)

インド音楽はインド人の直観と知恵において築かれた、うつくしい文化的音楽である。ヨーロッパやアメリカの音楽とは根本的に異なる構造を持ち、それを奏するには高度の熟練を要する。私にとっては魅惑ある音楽であるとともに、大変むづかしい音楽でもある。(1977年、インド・パンジャブ州ジャランダールにある、ラジニワリ・カラ・サンガム アートスクールにてヒレタール氏に師事。4回の渡印経験がある。)

8ミリ映画(トーキー)、「ハリバラブ音楽祭」は1978年12月28〜30日の録画。同祭は、ヒンドラのグール(導師)ハリバラブにより、1875年に宗教的集まりとして始まったが、次第に音楽祭化し、現在でも毎年12月の末に行なわれている。開催地は、パンジャブ州ジャランダール市。

このフィルムに収録されている主な演奏家は次のとおり。

Brij Narain (バリジ・ナイン), Ashish Khan (アシシュ・カーン) : サロッド演奏

Rasik Lal (ラシク・ラール), Ustad Mohammad Husain Khan (ウスタッド・モハメド・ハッサイン・カーン),

Randit Jas Raj (ランディット・ジャス・ラジ) : 歌手

Sipla Bos (シプラ・ボス) : 女性歌手 他45分。

〒111 東京都台東区浅草橋 5-28-9 TEL 03-851-5935 (自)

○ 高橋昭八郎 (詩・コラージュ・物体)

① コラージュ / コラージュ……

② 単語の鳥が啄む 緑色言語

③ 言葉と物体

自分で消したか考える文字 / 言葉と消した跡が、もし何らかの形をとりあつたものとすれば、それと残された文字 / 言葉との出会い、構造はすでに「あつた」ものではない。

“像の写像形式を像は写像できない。”という論理を得つてもなく、《本》——言葉と物体、の場合も、言葉・と・物体はそれぞれ別個のものでありながら、それぞれ自体でもあり。

ときとして、word の world となったりするもの、単なる誤植であつたとは言えないだろう。

〒020-01 盛岡市高木 4-19-3 TEL 0196-61-4853 (自)

○ 中島達夫 (テーフ作品、オブジェ)

* テーフ「ストリングス」(仮題) 45分くらい

* Object 1 高さ40~60cm程度

* Object 2 「30%の存在」…水使用

* Object 3 内容未定、ただし人の背の高さくらいのもになる予定。

と、以上の作品を出品予定であります。

尚、作品には燐瓷、腐敗、発火、発熱、死の恐れのあるものは含まれていません。おしこ。

〒166 杉並区高円寺南 1-4-13 三宅荘 2-3

TEL 03-216-1403 (自)

○ 藤本和男 (演奏, イベント, etc)

* テーポ・コンサート

* 青少年と婦女子の為の即興の集い

出来るだけ、この2つは連続したプログラムとして行なう。テーポ・コンサートは我々の演奏テーポを中心に(勿論、既成のレコードを付けても構わないが)、1時間〜1時間半に渡って、解説を交えて行なう。次いで参加者を入れて簡単なディスカッションを行なう。全く初めての人でも即興演奏にハマれるような雰囲気をつくら、実際に観客参加の演奏を行なう。どのような「形式」にするか直前に決定する他ないが、集団即興演奏だけで終始するのはつまらない。……

* 即興ドラマイベント (ホームドゥードラマ)

会場の光を合わせた中で、各自が即興的に、独白・対話・演説等を好き勝手に行なう(重作も)。最初から参加者に募っても構わないから、まず、我々が口火を切るべきだろう。

〒166 東京都杉並区高円寺南 4-41-7 氷川荘2号

○ 中塚敬子 (本人)

出品物は、身長153cm 重さ50±3kg くらい。生まれて以来、育ち続けている。何故か? もう20年に行き小生に負ける(略)やりすぎると(略)気をつけている。

これといった芸をするわけでもないが(略)これを機に紹介してみようと思った。

* ヒラマキ

これは多くの人と共有するものとの一体感や繋がり成す青色ジュータンの世界であって、ましてや頭を刈り取られる様子が目白押しなので、高円寺では流行しおたから盛岡!!

〒165 東京都中野区野方 2-29-19

○ 広重嘉之 (テーポ作品)

* ULTRA BIDE

結局のところ自分たちが満足する音がないから、自分の好き勝手なことをこのバンドでやっているだけの事だろう。カリスティックな自己満足が ULTRA BIDE の音の中に絡み合っている。その行為の代償として、空虚感と出血を拒むことはできない。79年5月から加入した el-g の HOTTER はその空虚性に耐えきれず、6月30日のギグを最後に「もう音楽を止める」と言い出し、脱退した。しかし加速度的な自己破壊作業は止まるはずがない。9日には Vanity レコードにてレコーディングを行なう予定で、年内には関西パンクスのオムニバス・レコード発売の計画もある。このテーポは ULTRA BIDE の東京と大阪でのライブ・テーポを編集したものである。

* 螺旋階段

JoJo と Sophie がオリジナル・メンバー。今回のテーポで又曲だけ参加している Mui は6月で脱退。「妥協したくない」と Sophie が語っているように、その音は本能的要素を含みながらも、淡々とした暗いイメージがぬぐえない。それは歌詞の中の内向的な、しかし肯定的な姿勢と曲詞のシブキ性とのアンビバレンスから生まれるものかもしれない。秋からは積極的にライブ活動を行なう予定。このテーポは京都でのライブ・テーポを編集したものである。

〒602 京都市上京区一条通御前西入大東町103 TEL 095-463-1723 (自)

○ 中坪清一 (テーポ作品)

これらの作品の多くは一様に暗く重くエレクトリックな処理の上に無秩序で偶発的であり、たにやら意味深げなテクニクを味つけされた、きわめて楽しいフリー・ミュージックとなっており、基本と音は大体単純であり、明快そのものであり、外面的な仕掛けと内容との関連は全く無いと自分から考えている。又、曲において多少の違いはあるが曲として構成されておくとゆー努力が、元来基本的技術に欠け

るために、逆にフリー・ミュージックにしてしまった所が感じられる。だから自由に流したお存曲。本当のニマツルのお存曲の中にこそおもしろさがあったりする。

内容的意図が最初から無いのであるから、創造した先の事は責任持てない、元来、冗談ぽい意識が強いのかも知れない。まあ全体として比較的ポップなラインによる、告白的デタラメサウンドコレクションであり、大衆路線に沿った空間感覚充分のバラエティー豊かな作品集として、多くの人の支持と反感を得たいと考えておるんだが……。

使用機材：オルガン（型番不明）、コルグ・マイクロポリメント、クワジ SE-700、カワイ X-1、グヤトンアナログエコー AE-5、クルグ Mr.マルチ FX-2、マクソン D&S・FLANGER-301、BOSS DRIVER DB-5、トモロビ・スタート・レスリー、三身一体型エフェクター（型番不明）
〒020 盛岡市緑丘 3-19-29 TEL 0196-62-9637(自)

○ 金野吉晃（イベント、演奏、オプジュ、絵画）

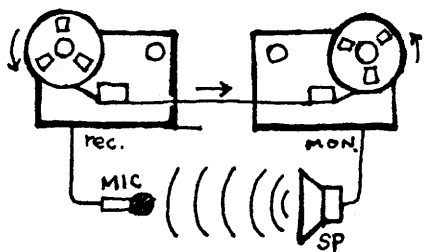
* Ambience of Improvisation : 演奏空間の設定。

- ① Echo World : 複数のエコー unit を使用した演奏空間。
- ② Delay World : テレレイ System を使用した演奏空間。〈図1〉
- ③ loop World : 複数のループ System を使用した演奏空間。〈図2〉
- ④ Cassette and Radio World : 演奏空間の四方に置かれた SWラジオはそれぞれの「演奏者」において「演奏」され、1~3人の Noise Maker の出す音は、その周囲に居るカセットレコーダーの「演奏者」において任意に録音され、再生される。（約30分を予定） 〈図3〉
- ⑤ ①~④の System を同時に併用してもよい。

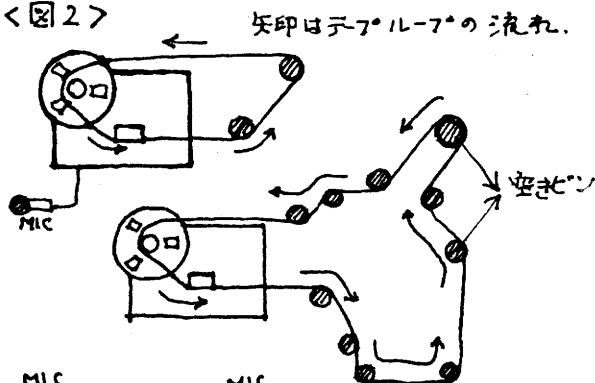
〒020 盛岡市中野-J目 10-31

TEL 0196-62-4173 (自)

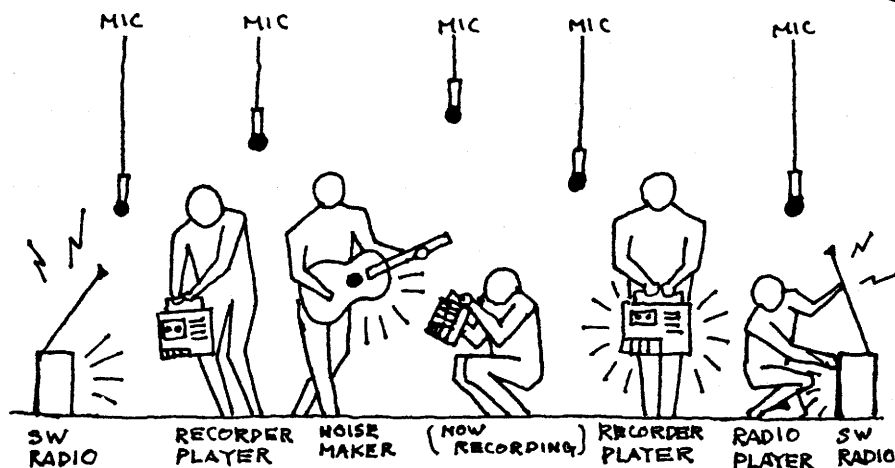
<図1>



<図2>



<図3>



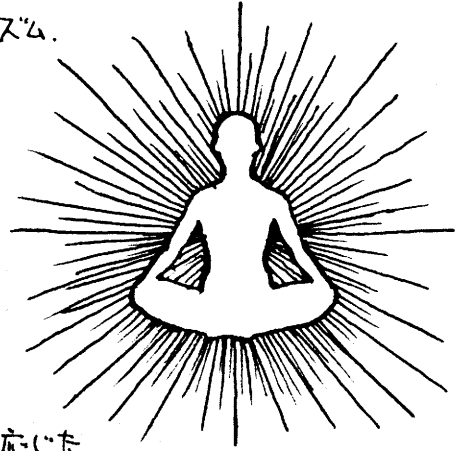
MIC でひかれた音は様々にエフェクターを過りモニターされる。また同時に録音されていく。

○ 清水友邦 (Tantric Vocalization : 声帯のヨガ)

① フラマ・メディテーション : コンプレックス や ストレス などによって停滞した「気」の流水を 100% ムクダアサナにおいて良くし、これによって フラズマ化した カルマを皮膚の表面と末端に誘導させ、統覚で意識線の放射を行います。

② 音楽浴 : 参加者全員で流れ出す音、自由に、自由なリズム、音程、メロディーでフリーソングの合唱。自覚意識(想念)は勝手に誘はせて統覚で眺めます。

③ サバアサナ : 静かに横になって全身をリラックスさせ体の皮膚全体から放射する意識線を統覚で眺めます。



註釈

○ パワムクダアサナ

固まっている所をほぐしながらか、体をゆくり動かすハタヨガのテクニック。

○ カルマ

サンスクリット語の行為。仏教では業と訳され、行為に応じた結果の運命の因果関係をさす。この場合体カルマ(新陳代謝がうしる代謝毒=老化物質)のことで体内に蓄積されて溶け出すと病気になるたり死んだりする。特に頭には脳代謝毒が大量に溶け出す危険性があるので、エネルギー流は首と首から下の方の全身の方がよい。

○ 統覚

心身全体を眺めることのできる感情や欲心の無い意識の中核。眺めることが安定してくると、体のこりや痛み、偏った考え、感情が現れたら自然に外へ眺めることのできる。

○ 意識線

統覚で皮膚をさわるように眺めると、体から放射する意識の線(エネルギー流)が分かる。イメージすることによって自由に意識線の放射と入射ができる。ただし統覚で無心に眺めようとは走らさない。

* 藤川マツについては、東京都練馬区桜台1-36

TEL 03-992-6283

伊(集団)頭脳プロラクション / 生活プロラクション)内 <現代ヨガ>の会人

〒020 盛岡市京信館5-37

TEL 0196-45-43529(自)

○ 東野正 (オブリジェ、他)

詩集の解体片(詩そのものでないのが残念)をオブリジェ風に2~3個提出します。言葉と物質化して、眼に見える形とたものを対象に自らの詩集を解体します。大きさは不定ですが、体積にすれば200cm³もたいてしう。あまり立体的ではなく、むしろ作者の温もり、肉筆などは排除されているから、快速な破片とたいてしう。

ただ、あまりにも思いつきてありすぎると自己れんげんを感じます。

〒020-01 盛岡市厨川3-7-3

TEL 0196-47-3476(自)

○ 昆明男 (フィルム)

三本の映画を一度に見るにはどうしたものかと考えていた矢先、フィルムが あおているので、映画さくらんぼとこの話が、走りながら考えておぼろ作、作の「DUO」をわけたけおありー2にスムーズに出来てきたので、製作年月日並べに出演者名の一部、制作費の記憶が定めてはない。ただ注意しなげなうのは、三本のフィルムとて一本の「エガ」として見られやすく、逆に三本のフィルムとして見るには視神経が疲れる。しかもその方がネライでたいてしうこと。ただただ「テレビのスタイル」をきかて作たに過ぎず、加らマンが同時に出演者たといふ点、ディレクターの特権であるモンタージュを放棄した点、で作者不在といえる。惹

国したトリ作者好みの風景、(女)が表現しきれなかったことに満足している。カマラ、佐藤、田中、宮川、金田(兼タイトル)。ほか。

「IY0」。このフィルムは編集の実験のために作られた。存じも存じも編集され、編集され続けられるだろう「IY0」。カマラ、佐藤、田中、金田、舞踊、S.IY0。

何年昔のことだろうか。「家族写真」のお友「同級生映画」を作ろうと誰かが言い出し、結局今と存じはあんまり顔の時代、あつたのと取らなく存じだけ。「青春の」は存じの啄木をモチーフにデザインされた。何年ぶりかの同窓会には宴会の片隅に置かれたいとしても、泥酔した彼等の手では決して上映させることのない映画である。

映画観賞と読書の大きな違いは、読書は早読みと遅読みができることである。芝居も容質において毎回上演時間が変わる。見る者に時間を押しつける固執とは断固拒否せねばならない。

ムシムシの深夜映画の片隅に垂ヒニ人で小芝居 放す

〒020 盛岡市内丸13 県民会館 0196-24-1171 (県民会館)

○ 園田佐登志 (フィルム、イベント)

* ガラス器による幾つかの試み

・ 踏子楽器とVoiceの為の〜引声〜

・ 踏子植物 (オブジェ; ヒン、その他ガラス器、水、インク、洗剤、シャボン玉等) によるパフォーマンス

* 磁器その他によるパフォーマンス

・ 磁器、磁器、磁器、磁器状のもの、こすりたたいたりする。(直接に手くせか、出ない方法を使う。) 徐々に破壊していく、エコーマシンが併用される。

* Hanging Event

・ 何か、うつされるかは不定 (人体も含まれる。またはものみの場合もある)

* Endless Tape を使った試み

・ Endless Tape には「天国への階段」(J. Page, R. Plant) における、あのバージョンが収録される。レコードのキズなどによるムカムカが使われる。

* ホース楽器によるパフォーマンス

・ 洗濯機などのホースを十本くらい長短用意して行われる。

* 知覚演習 (触覚、視覚、聴覚等を含む)

「もの」をこする、たたく、おこす、叩く、叩く... としたそれと別の行為の意図性、相関的な意図性、並次に、それらの行為と発音現象(行為)との関わりを探っていく。そこに居る誰もが参加可能である。(これは7/5(木)吉祥寺 "Minor" でのSessionの為のタイトルである。)

* 数人のタバコ・フレイヤーの為のパフォーマンス

・ 部屋を真暗にして、それと別のフレイヤーは空中にタバコの火跡を描く。

* その他、測定イベント、小オブジェなどを予定している。

〒271 千葉県松戸市栄町7-563-16 TEL 0473-64-8718 (自)

○ 中村俊亮

1970年、クール・ポ・アロッシュ (高橋昭八郎、田沢利紀、松下光隆ら) から発行した、まい、ほらじい、シリーズの中の数点を出版します。それぞれ、詩と映像を組み合わせたポスト・サイズ"の作品で、わたしは主に詩を担当しています。

〒020 盛岡市山岸三丁目 22-17 TEL 0196-61-2550 (自)

0196-52-2734 [勤務先「寺のぼり」]

○ 泉川景子 (オブジェ・他)

作品は下記のいずれかを予定

- ・文豪の箱の中に、口近くまで油粘土を詰めたるもの
- ・黒塗りの氷ノウに以下のものをそれぞれ詰めたるもの
 1. スリムの足 (7.8頭分)
 2. 片栗粉
 3. ビー玉とス・II・ボール (たくさん)
 4. フトン綿とアサの束
 5. ミソ、シジミ貝
 6. 髪の毛と、タバコのフィルター
 7. 生ゴム系に、いくらみのビーズを通したものを

「お手を触れて下さい」と書いておく。

- ・北条画廊の階段にカラムリの多く置いたるの写真
作品の解説

蓄入りコーラ殺人事件というのがあった。この事件の留意すべき点は2つある。

1. 被害者が「捨喰い」という行為を仕掛け者成立し得る。
2. 被害者は加害者の設定した状況に遭遇して、たまたま1.の行動をした任意の一個人である。

「捨喰い」というのは非常識の極に聞こえるが、事件発生当時の状況をみると、決して不自然な行為ではない。コーラの前を通りかかった人間は、どうしようもなく無個性な一個人である。コーラを飲もうと飲ままいと、いずれもあり得ることであり、要するに統計的・確率の問題で、つまりコーラを見たうちの何んかは飲むのである。この場合、特定の個人に対して存する「あなただって飲むか？」の問いは全く意味が無く、物陰で眺めていたのは、無個性な「主人公」を見る、社会的冷淡の目であることも間違いない。

気がつかないけれど何でも無いものに盛られた毒に手を出さる事、そして手を出した(出さず)者を冷淡かつ異質の目で見る事。これは理想である。私はこういうことを自分に対して、見ず知らずの人に對してした。

誰も目を突かれぬ限り、作品はそれ自体何も言わぬ。空響のみに静んである。そして手を出す人かいても、残念だが毒は有り。代わりに、私自身に対して、自分の感覚を観察する時使う、ちよとした手引きが入っている。

〒020 上田4丁目 青電荘 8 TEL 0196-54-5292 (呼)

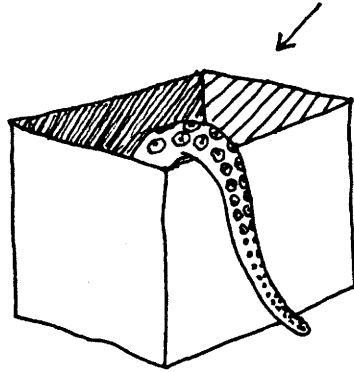
○ 村中文字人 (コア・ジュー・オブジェ・他)

* コア・ジュー : これは詩の解体だ。解体された詩の残りが... 1111や、そんなわけでもないやないよ。たのびだす。1974~1978年の間、金野吉晃・藤本和男らとともに断続的に作ってきたコア・ジューの集大成が、ブラック・バイブルである。素材は新聞・週刊紙から婦人雑誌、小説に至るまで多岐にわたる。コア・ジューにおいてその個性が表われるというのは一つの発見である。

* オブジェ : オブジェの素材もまた、日常一般のものである。2つの瓶にお(瓶を核とした)作品は、物体のコア・ジューであり、必要に応じて日常空間に還元することも可能である。たとえば「文字コア・ジュー」が、鏡片に夜空の結合をもたした際に、オブジェ自体の結合力はきわめて弱いものだからだ。そう言ってみると、どうにもなる訳では無いけれども。

砂糖壺の中に混入された爪の切屑は壺自体を汚染する。それを見る者の砂糖壺の「原器」にまで、それは延長されるのだろうか？

〒020 新田町10-31 コーポ・アパシ 8 TEL 0196-52-3750 (自)



○佐藤隆史 (イベント)

(註) 当解説は、電話にて口述したもので、詳しい内容にはあてはまりません。

詳しい説明は当日、会場にて行ないます (金野)

イベントタイトル「これが愛だ」

Source ; BGM用テープ, tablets & pills

「各人は、常に社会秩序の変化が必要である息づかいしている人々の心の中にあるものを研究しなければならぬ。即ち、これが愛だ。」

7/26 (木) 吉祥寺の貸ホール「Minor」において行われた Group 60~70年代派 (実は Japan Fluxus) によるパフォーマンス。まず、身体をこわばらせて、消極的姿勢で、かつ生理的制約の中で、与えられた音を受けとらう。知覚を基準にした武器はとりあえず胸の中にしておいて、せれるがままのムチムチした裸体を放り投げてしまう。工作舎が何だ！ 半夏舎が何だ！ 差別されるのだから、それを受けと立ってやりましょう。メデタイションが何だ！ クリストリセーションが何だ！ 今、東京で「はマソマソ」ごっこ (= 五日市街道「7.11」前における路上飲食会) が大流行している。即ち、これが愛だ。

(* 7.11 (セブンイレブン) は、スーパーマーケットチェーン。小型スーパーで、A.M 7:00 ~ P.M 11:00 まで開いているので、この名があるが、24時間営業している所もある (例: 三鷹)

〒180 東京都武蔵野市吉祥寺南門 2-34-8 女ゆめ荘2号

Tel 0422-21-4613 ("Minor" 貸ホール)

○藤原美幸 (声)

〒020 盛岡市厨川 5-6-6

Tel 0196-47-1700 (自)

○横山秀男 (写真)

〒020 盛岡市厨川 5-9-13 水み荘

Tel 0196-47-9929 (自)

○北条誠 (パネリ・オブジェ)

〒020 盛岡市厨川 3-2-1

Tel 0196-47-0870 (自)

○伊藤元之 (オブジェ・イベント)

〒024 岩手県北上市諏訪町 2-2-15

Tel 01976-3-2828 (自)

○小室原 真

〒020 盛岡市夕顔瀬 4-15

深村コホ Tel 0196-53-4057 (呼)

○船木仁 (コラージュ)

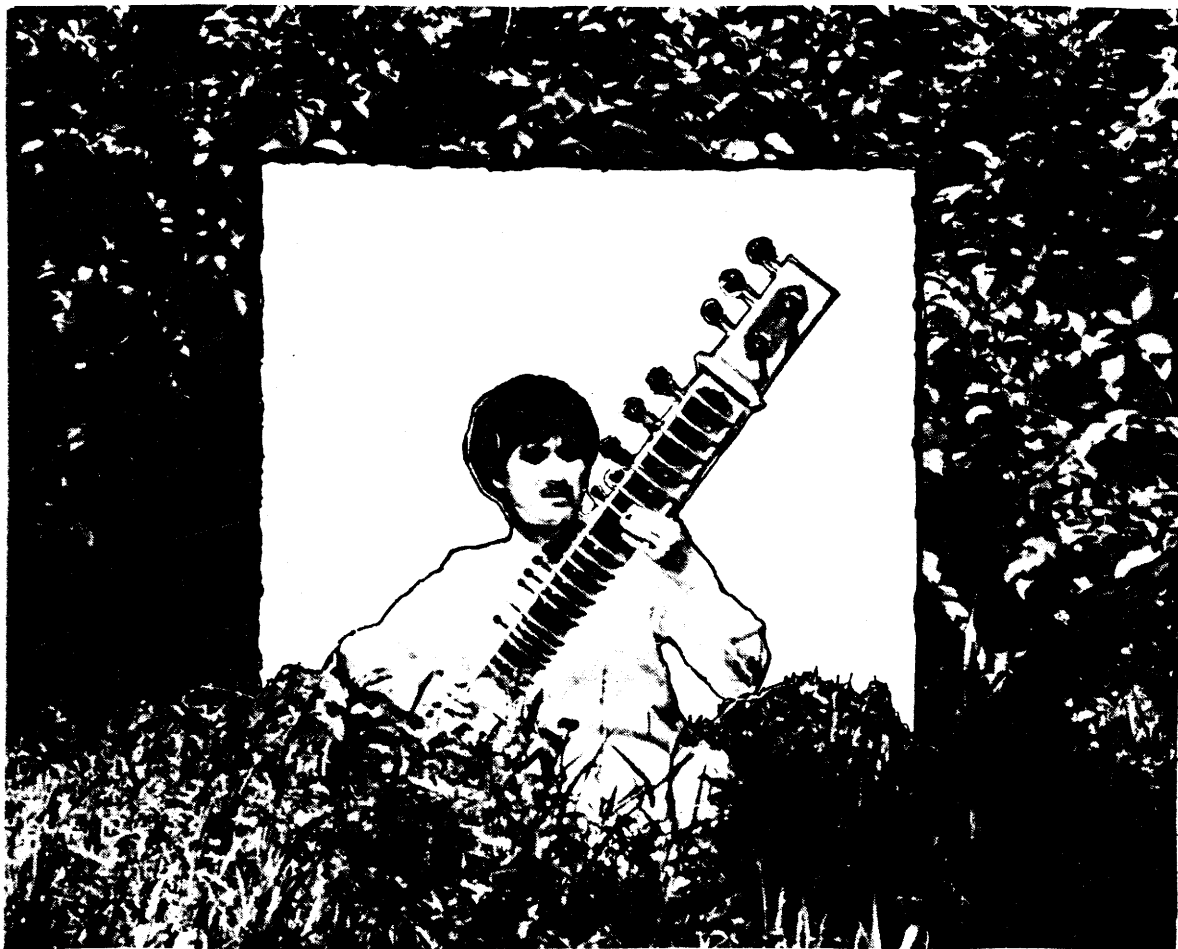
〒019-17 秋田県仙北郡神岡町神宮寺 Tel 018772-3222 (自)

○小山博人 (イベント)

〒272 千葉県市川市新田 2-24-2

第一十荘

Tel 0473-26-5843 (呼)

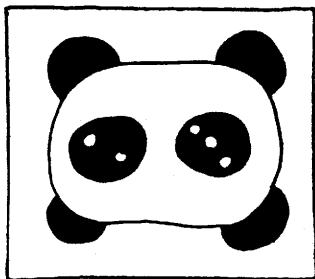


「インド音楽の夕べ」

シタール独奏：永井邦治

8/11(土)・12(日), 本町通「北泉画廊」400円+カンパ

8/14(火), 上田「セロ弾きの小屋」500円+ドリンク代



第五期

• 問い合わせ：北泉画廊 24-2982 / 全野吉見 52-4673 / 盛岡 0196 8

第五列週間

1979・8/9～15

盛岡・本町通・北点画廊

「オ五列週間」とは

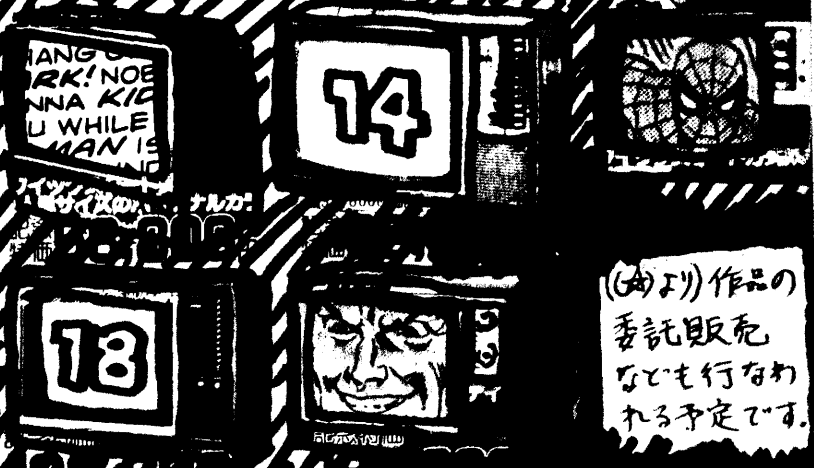
あらゆる感覚(視
嗅・味・触・etc)
媒体として展開
れた、あるいは現在
行中・計画中の「
あなたの作業=音
・作品・行為」の
加を求めています
疑似組織「オ五
」のメンバーが主催
するトータルカマル
メディアによるノンセ
ッション・アンデラン
ン展なのです。

今までかつての展覧会
にはこのような事が色々の様々試みてきたが
皆すべてしはしいは所により稀には枚挙の例にいとまがございませ
んが言うなればなれになつてとりかえしのつかぬ事をお尋ねいた
しますか皆様にあられましては参加の意志力は
ありますでしょうか?

「オ五列」は現在あり
とあらゆるタイプの作品
を求めています。展覧会
の形式を借りてはおりすが
単に視覚的な作品に留まら
ず言葉・文字による作品(詩
・小説・コラージュ・視覚詩・
指示によるイベント etc)、聴覚
による作品(演奏・朗読・音
声詩 etc)を記録したテープな
ど)なども歓迎いたします。
また会場における実演や
参加、等もお勧めいたします。
会期中は自由参加による
集団即興演奏や(*)



(*)より自主製作
フィルムの上映、ゲ
ストによる講演、レ
コードコンサート、シタ
ルの生演奏等(*)



(☆)より作品の
委託販売
なども行なわ
れる予定です。

ISOKINETICS

参加申し込み方法

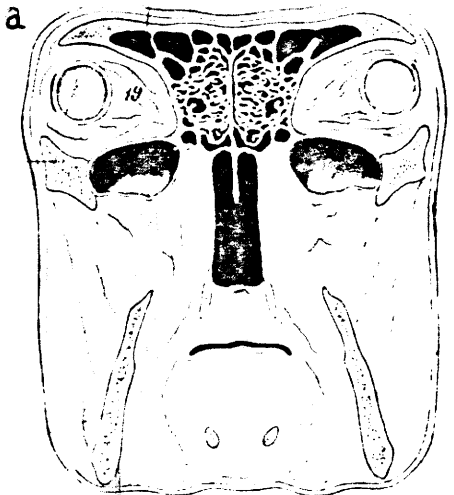
「オ五列週間」に参加・出品を御
希望の方は作品の概要、説明
出品タイトルを明記のうえ参加料
3500円を添えて下記の住所
までお申し込み下さい。視覚的な
作品の場合、できるだけ写真、
あるいはイラストを添えて下さい。
〒020 岩手県盛岡市中野1-10-31 金野吉晃 phone 0196-52-4673

受付のメ切りは、6月10日(当日
消印有効)です。申し込みかつし
たいおりにかえて連絡させていた
たきます。尚、作品の必着期日等
に関して、後ほど連絡させてい
たたきます。

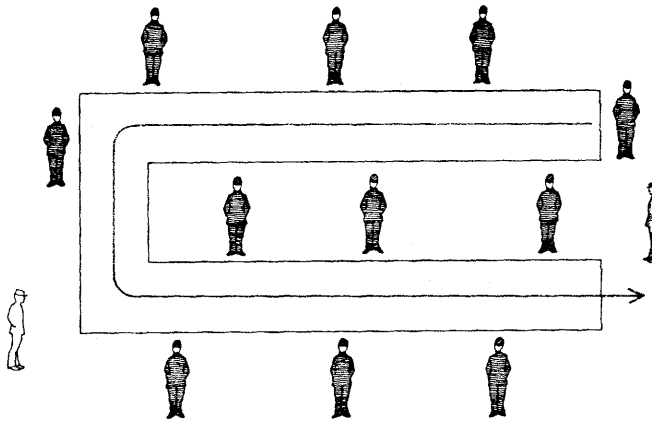
Why keep depriving yourself of the
skill of making your own music?
ては「オ五列」のメンバーが責任
を持って保管、返却に
あたりますか郵
送中の事故につ
きましては
その限りでは
ございませぬ。



「第五列週間」とは…あらゆる感覚(視・聴・嗅・味・触 etc)を媒体として展開された、あるいは現在進行中の「あなたの作業=記録、作品行為」の参加によって励起される一つの場。疑似組織「第五列」のメンバー(?)が主催するトータルかつマルチメディアによるノンセクション・アンデパンダン展なのです。



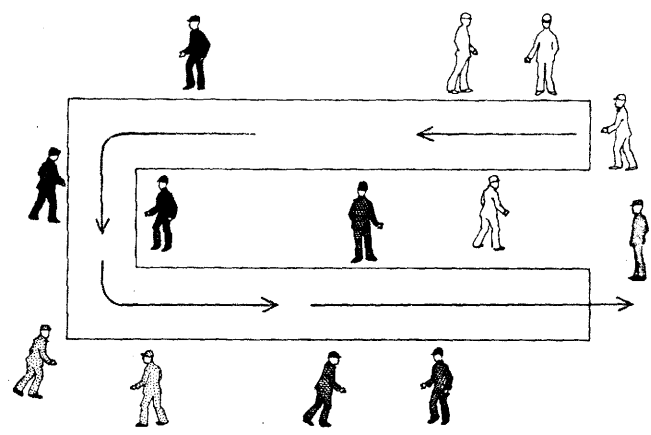
1979.
8/9~15
第五列週間
DAI - GO - RETSU
AT HOKU-TEN GARŌ MORIOKA / 北堂画廊・盛岡



「第五列」は現在、ありとあらゆるタイプの作品の参加を求めています。展覧会の形式は借りていますが、単に視覚的作品のみにとどまらず言葉・文字による作品(詩・小説・書・コラージュ・視覚詩・指示によるイベント等)、音声による作品(演奏・朗読・音声詩等の記録・テープ)なども歓迎いたします。会場での演奏などを行います。また、会期中に、自由参加による集団即興演奏やフィルム上映、ゲスト公演、ミタールの演奏会なども行われる予定です。

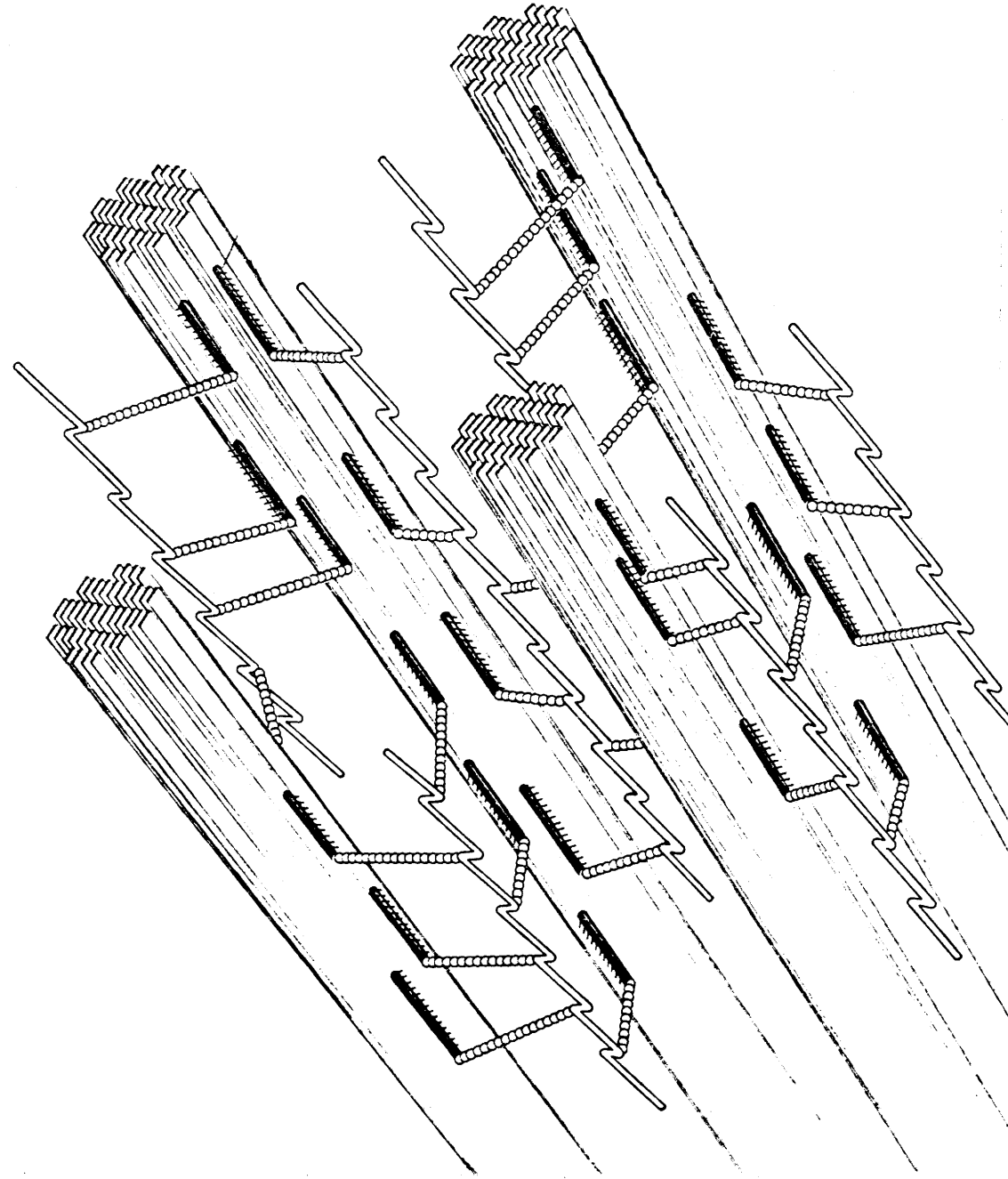
「第五列週間」に参加・出品を御希望の方は作品の出品タイトル・概要を明記のうえ参加料(3,500円)とともに6月10日までに、下記の住所にお申し込み下さい。
「第五列週間」パンフレット作製のため、作品の写真あるいはイラスト、製作者の写真(顔その他の部位)メッセージ等をお送り下さい。これは6月末日必着のようお願いします。
参加作品につきましては、「第五列」メンバーが責任をもって保管にあたりますが、作品の到着期日・返却方法等につきましては、申し込みがあり次第こちらから連絡致します。
(作品の委託販売を希望の方は申し込みの時、販売希望作品、価格などをお知らせ下さい。)

今までかつての展覧会にはこのような事が色々な様さまの試みてきたが皆ずたずたは「所によりまれには枚挙の例によていときがございせんが!」こんなことまでかつて。言われればなれに存てりかえしのつめぬことをお尋ねいたしました。皆様は参加の意志はありますか? しょうか?



- 「第五列週間」参加申し込み受付。
6月10日まで(当日消印有効)
- パンフレットのための写真その他の到着期限。
6月末日までに必着
- その他の質問・希望等も参加申し込み期間中に
当るに申し付け下さるようお願いいたします。

〒020 岩手県 盛岡市中野一丁目10-31
金野吉晃 TEL 0196-52-4673



b